

## 企業ガバナンスの在り方及び多様なステークホルダーとの関係性 に関するアンケート調査

本アンケート調査は、近年の規制緩和、制度改革により、企業にとってガバナンス上の諸対応が求められているなかで、各企業の対応の現状や、多様なステークホルダーとの関係性について実態把握することを目的に実施するものです。

各位の忌憚のないご意見を賜りたく、ご協力のほどよろしくおねがい申し上げます。

また、本アンケート調査は、内閣府政策統括官（経済社会システム担当）より委託を受けた(株)日経リサーチが実施いたします。本調査の内容および回答方法等についての疑問点、ご質問などがございましたら、下記にお問い合わせください。

内閣府政策統括官（経済社会システム担当）

調査実施担当：(株)日経リサーチ

### 【調査方法と記入上のお願い】

- ご記入は、『〇はひとつだけ』『〇はいくつでも』などの表記に従って、あてはまる番号を〇で囲んでください。
- ご回答いただいた内容に関しましては、すべて統計数字として処理を行い、ご回答頂くことで貴社にご迷惑をおかけすることは決してございません。
- ご回答いただいた本アンケート票は、一緒に同封しました返送用封筒（切手不要）に封入し、**2008年1月21日（月）**までにご投函をお願い申し上げます。
- 単純集計結果を希望される場合は、同封の「送付先記入用紙」のご記入をお願いいたします。同封しました返送用封筒（切手不要）に本アンケート票と一緒に封入してください。

### 【調査に関するお問い合わせ】

TEL 03-5296-5128

(株)日経リサーチ 社会経済調査G 担当：小島、中澤、木村

(お問合せ時間：平日 10:00~12:30、13:30~18:00)



日経リサーチは'99年8月に財団法人日本情報処理開発協会より、個人情報を適切に取り扱っている企業に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

—日本経済新聞グループの総合調査会社—

株式会社**日経リサーチ**

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2-7  
パークサイド1ビル 社会経済調査グループ  
TEL 03-5296-5128 担当：小島、中澤、木村  
FAX 03-5296-5107 調査 No.07-523-0083

## I. 貴社の基本的なプロフィールについてお伺いします

Q1. 貴社の主たる業種はどれですか。  
あてはまるものを1つお選びください。(「O」はひとつだけ)

1. 農業	8. 情報通信業	15. 医療、福祉業
2. 林業	9. 運輸業	16. 教育、学習支援業
3. 漁業	10. 卸売業	17. 複合サービス業
4. 鉱業	11. 小売業	18. サービス業
5. 建設業	12. 金融・保険業	(他に分類されないもの)
6. 製造業	13. 不動産業	
7. 電気・ガス・熱供給・水道業	14. 飲食店、宿泊業	

Q2. 貴社の従業員数は何人ですか。(正社員、契約社員、パート、アルバイト等を含む)  
あてはまるものを1つお選びください。(「O」はひとつだけ)

1. 100人未満	5. 500人以上1千人未満
2. 100人以上200人未満	6. 1千人以上3千人未満
3. 200人以上300人未満	7. 3千人以上1万人未満
4. 300人以上500人未満	8. 1万人以上

Q3. 貴社の売上高はどれくらいですか。単独決算ベースでお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(「O」はひとつだけ)

1. 50億円未満	5. 300億円以上500億円未満
2. 50億円以上100億円未満	6. 500億円以上1千億未満
3. 100億円以上200億円未満	7. 1千億以上5千億円未満
4. 200億円以上300億円未満	8. 5千億円以上

Q4. 貴社の最近3年間の経常利益率の伸び率はどれくらいですか。  
あてはまるものを1つお選びください。(「O」はひとつだけ)

1. マイナス	5. 3%以上4%未満
2. 0%以上1%未満	6. 4%以上5%未満
3. 1%以上2%未満	7. 5%以上10%未満
4. 2%以上3%未満	8. 10%以上

Q5. 貴社の設立年数はどれくらいですか。  
あてはまるものを1つお選びください。(「O」はひとつだけ)

1. 5年未満	5. 40年以上60年未満
2. 5年以上10年未満	6. 60年以上80年未満
3. 10年以上20年未満	7. 80年以上100年未満
4. 20年以上40年未満	8. 100年以上

**Q6.** 貴社の機関設計について、それぞれお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	し 導 て 入 い る	い 導 ない 入 し て
a) 監査役（会）	1	2
b) 執行役員制度	1	2
c) 社外取締役	1	2
d) 委員会設置会社	1	2

**Q7.** 貴社の属性について、それぞれお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そ う で あ る	そ う で は な い
a) (会社法上の) 大会社である (資本金5億円以上または負債総額200億円以上)	1	2
b) (会社法上の) 公開会社である (全部又は一部の株式について譲渡制限を設けていない)	1	2

## II. 近年の規制緩和・制度改革に対する評価、対応について

ここでは、会社法を中心とする企業活動に関する基盤的な制度のうち、企業統治（機関設計の自由化、執行役員制度の導入、監査制度の強化、情報開示の充実等）、企業金融（株式制度の柔軟化、販売規制の緩和等）の領域で進められている規制緩和、制度改革をテーマにしています。

**Q8.** 新会社法により、企業は多様な機関設計を選択することが可能になりました。貴社は、この制度変化についてどのようにお考えですか。それぞれについてお答えください。  
**あてはまるものを1つお選びください。（それぞれ「○」はひとつだけ）**

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 企業の成長段階に応じた柔軟な機関設計の構築が可能になった	1	2	3	4	5
b) 意思決定の迅速化による経営の効率化に寄与している	1	2	3	4	5
c) 社外取締役の参画等による経営の合理化に寄与している	1	2	3	4	5
d) 監督・監査機能の強化による信頼性の向上に寄与している	1	2	3	4	5
e) 内部統制、法令遵守システムの実施によるリスク管理の高度化に寄与している	1	2	3	4	5
f) 情報開示の充実による透明性の向上に寄与している	1	2	3	4	5

**Q9.** 貴社は、執行役員制度についてどのようにお考えですか。それぞれについてお答えください。  
**あてはまるものを1つお選びください。（それぞれ「○」はひとつだけ）**

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 取締役会の監督機能を強化するために効果的である	1	2	3	4	5
b) 執行機能の機動性の向上に寄与する	1	2	3	4	5
c) 証券市場でのよりよい評価につながる	1	2	3	4	5
d) 既存の取締役会、監査役会の体制で十分である	1	2	3	4	5
e) 執行役員の適任者を見つけるのは困難である	1	2	3	4	5
f) 機関設計の変更に伴うコストが負担になる	1	2	3	4	5

Q10. 貴社は、**社外取締役**についてどのようにお考えですか。それぞれについてお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 株主の立場からの経営監督機能を強化するために効果的である	1	2	3	4	5
b) 外部の立場からのアドバイザー機能が期待でき経営にプラスになる	1	2	3	4	5
c) 証券市場でのよりよい評価につながる	1	2	3	4	5
d) 事業内容や内部事情に通じた社内取締役や監査役の方が、社外取締役による監視よりも効果的である	1	2	3	4	5
e) 社外取締役の適任者を見つけるのは困難である	1	2	3	4	5
f) 社外取締役への報酬や説明責任を果たすための労力が負担になる	1	2	3	4	5

Q11. 貴社は、経営に対する**監査・監督機関**についてどのようにお考えですか。それぞれについてお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 監査役（会）は取締役（会）の監視機能を十分に果たしている	1	2	3	4	5
b) 社外監査役の参画は、監査役（会）の機能の向上につながる	1	2	3	4	5
c) 内部統制システムの整備は、経営規律の確保のために有効である	1	2	3	4	5
d) 公認会計士などの外部監督機関による監査の実施は、内部統制の強化に寄与する	1	2	3	4	5

**Q12. 貴社が、監査・監督機能を強化するために行っている取組みはどれですか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はいくつでも）**

1. 執行役員制度を導入し、執行と監督を分離している
2. 委員会設置会社に移行し、経営の合理化を図っている
3. 社外取締役制度を導入し、取締役会の監督機能を強化している
4. 社内取締役や監査役（会）の従来機能を活かしている
5. 内部統制システムの整備を行っている
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
7. 特に意識した取組みは行っていない

**Q13. 貴社が情報開示を行う際に、最も重視していることは何ですか。貴社の考えに最も近いものをお答えください  
あてはまるものをお選びください。（「○」はひとつだけ）**

1. 企業の知名度の向上
2. 株主に対する説明責任
3. 証券市場における評価の向上
4. 金融機関に対する説明責任
5. 従業員の意欲あるいは満足度の向上
6. 親会社や取引先からの信頼の獲得
7. 社会、消費者からのイメージアップやブランド管理
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**Q14. 貴社の情報開示を行うための社内体制としてあてはまるものはどれですか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はいくつでも）**

1. 情報開示を行う専任部署を設置している
2. 会社のHPを利用して積極的に情報提供を行っている
3. ステークホルダーへの情報発信に関する方針や手続きを規定している
4. ネガティブ情報の公開に関する方針・方法を策定している
5. 倫理方針などCSRに関する理念・方針を策定し、公開している
6. 環境報告書やCSR報告書などを作成している
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**Q15. 貴社がIR活動として行っていることはどれですか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はいくつでも）**

1. IR活動を行う専任部署を設置している
2. 株主総会の集中日を避けて開催している
3. 株主総会では、中長期的な経営戦略を発表したり、質疑応答に十分な時間を割いたりするなど、株主とのコミュニケーションの促進を心がけている
4. 代表者が自ら積極的に自身のメッセージを公表したり株主との交流を図っている
5. 海外の投資家やアナリスト向けにもIR活動を行っている
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
7. 特に意識した取組みは行っていない

### Ⅲ. 貴社のステークホルダーとの関係についてお伺いします

Q16. いわゆる日本的経営と言われている取り組みについて、貴社はどの程度重視されていますか。それぞれについてお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	重視している	どちらかと言えば重視している	どちらとも言えない	どちらかと言えば重視していない	重視していない
a) 株式持合い制度	1	2	3	4	5
b) メインバンク	1	2	3	4	5
c) 安定雇用	1	2	3	4	5
d) 年功型の賃金制・昇格	1	2	3	4	5
e) 企業内組合	1	2	3	4	5

Q17. 貴社にとって、長期的な視点で企業を応援してくれるという観点にあてはまると思われるステークホルダーはどれですか。  
あてはまるものをお選びください。(「○」はいくつでも)

1. 取引先やグループ企業	5. 従業員
2. 機関投資家	6. 経営者及びその一族
3. 外国人投資家や国内外の投資ファンド	7. 顧客・消費者
4. メインバンク	8. その他(具体的に: )

Q18. 貴社の株主に占める外国人投資家や国内外の投資ファンドの割合はどれくらいですか。  
あてはまるものをお選びください。(「○」はひとつだけ)

1. 67%以上	4. 20%以上33%未満	7. 5%未満
2. 50%以上67%未満	5. 10%以上20%未満	
3. 33%以上50%未満	6. 5%以上10%未満	

Q19. 貴社が安定株主(長期保有目的の株主)の維持や獲得を意識して行っている施策はどれですか。  
あてはまるものをお選びください。(「○」はいくつでも)

1. 情報開示やIR活動を活発に行っている
2. 高配当政策を行っている
3. 種類株式等を利用した取り組みを行っている
4. 株主優待制度を強化している
5. 中長期的な経営目標を明示している
6. 株主の意見を積極的に吸収し、経営に反映させている
7. その他(具体的に: )
8. 特に意識した施策は行っていない

**Q20.** 近年M&Aが活発化していますが、貴社がM&Aの対象となった場合についてどのようにお考えですか。それぞれについてお答えください。  
あてはまるものをお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 事業拡大や事業承継などのために積極的に活用したいと考えている	1	2	3	4	5
b) いわゆるモノいう株主（機関投資家や投資ファンドなど）の意見にも積極的に耳を傾け、企業価値の向上につなげたいと考えている	1	2	3	4	5
c) 従業員など他のステークホルダーの利益を損ねる可能性がある	1	2	3	4	5
d) 長期的な視点での経営が困難になる恐れがある	1	2	3	4	5

**Q21.** 貴社では、議決権制限株式や拒否権付株式（黄金株）などの種類株式を利用した取り組みを行っていますか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はいくつでも）

1. 買収防衛策のために利用している	4. 経営陣の発言力強化のために利用している
2. 事業承継の円滑化のために利用している	5. その他の目的のために利用している
3. 資金調達のために利用している	6. 特に利用していない

**Q22.** 近年、上場企業がMBOによって非上場化する事例が見られます。貴社が考える非上場化することによるメリットはなんですか。それぞれについてお答えください。  
あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 敵対的買収にさらされるリスクを回避することができる	1	2	3	4	5
b) 長期的な視野で経営を行うことができる	1	2	3	4	5
c) ディスクロージャーの義務がないため、情報開示にかかるコストや労力を削減することができる	1	2	3	4	5
d) 市場の監視を受けず、自由に内部管理の体制を構築することができる	1	2	3	4	5
e) いくつかのメリットはあるが、非上場化のデメリットの方が大きい	1	2	3	4	5



**Q23.** 貴社では、労働組合やそれにかわる従業員組織が設置されていますか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はひとつだけ）

1. 設置されている

2. 設置されていない →Q24へ

【Q23で、1に○を付けた方にお伺いします】

貴社の労働組合やそれにかわる従業員組織の、主たる目的・活動はどれですか。最も近いものをお答えください。

あてはまるものをお選びください。（「○」はひとつだけ）

1. レクリエーションなどの従業員の親睦を目的としている

2. 主に労働条件に関する交渉を行っている

3. 経営方針等について定期的に経営陣と話し合う場を設けている

4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**Q24.** 貴社が、貴社の従業員に対する施策として行っていることはどれですか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はいくつでも）

1. 自社の経営方針を伝えている

2. 社内報などを利用したコミュニケーションを活発化している

3. 財務状況等の経営情報を積極的に公開している

4. 労働組合やそれにかわる従業員組織と協力し、従業員の意見を積極的に吸収して経営に反映させている

5. 従業員のインセンティブ向上のため、ストックオプション制度を導入している

6. 従業員持株会を設置している

7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**Q25.** 貴社が顧客・消費者からの要望・苦情への対応として行なっていることはどれですか。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はいくつでも）

1. 要望・苦情をデータベース化している

2. 要望・苦情を定期的に経営トップ（担当役員、代表取締役等）に報告している

3. 要望・苦情への対応部署を設置し、情報を社内で共有している

4. 対応策の実施状況や改善状況について調査し、評価を行っている

5. 顧客に対し、要望・苦情への対応方法や手続きを開示している

6. J I S規格「苦情対応マネジメントシステムの指針」に準拠した仕組みを構築している

7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**Q26.** 昨今、顧客・消費者を裏切るような企業不祥事が起こっています。こうした不祥事の原因として最もあてはまるものをお答えください。  
あてはまるものをお選びください。（「○」はひとつだけ）

1. 不祥事を未然に防ぐためのチェック体制が整備されていない

2. コンプライアンスなどの社内体制を整備していても、有効に機能していない可能性がある

3. 社内体制の有無に関わらず、コスト削減やスピード優先の意識が過剰である

4. 経営者のコンプライアンスに関する意識が欠如している

5. 従業員のコンプライアンスに関する意識が欠如している

6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

#### IV. 貴社のCSRへの取り組みについてお伺いします

Q27. 貴社では、企業活動においてCSR・社会貢献をどのように位置付けていますか。それぞれについてお答えください。

あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 経営の中核に位置付けるべき重要なテーマである	1	2	3	4	5
b) 企業が社会と共に発展するための、未来に対する投資である	1	2	3	4	5
c) 本業との関連性は弱くても、企業として払うべきコストである	1	2	3	4	5
d) 社会的な風潮である	1	2	3	4	5
e) 特に意識していない	1	2	3	4	5

Q28. 貴社は、CSR・社会貢献へ取り組むことによる成果をどのようにお考えですか。それぞれについてお答えください。

あてはまるものを1つお選びください。(それぞれ「○」はひとつだけ)

	そうである	どちらかと言え ばそうである	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそうではない	そうではない
a) 長期的な企業価値の向上につながる	1	2	3	4	5
b) 証券市場における評価の上昇につながる	1	2	3	4	5
c) 親会社や取引先からの信頼の獲得につながる	1	2	3	4	5
d) 従業員の意欲あるいは満足度の向上につながる	1	2	3	4	5
e) 社会、消費者からのイメージアップやブランド力の向上につながる	1	2	3	4	5
f) 特に何らかの成果が得られる訳ではない	1	2	3	4	5

**Q29.** 貴社がCSR・社会貢献を行ううえでの課題はどれですか。  
あてはまるものをお選びください。（「O」はいくつでも）

1. CSR活動専門の担当部署がない等、社内体制に不備がある
2. CSR活動にコストや労力をかける余裕がない
3. CSR活動が企業の業績向上に結びついているのか分からない
4. CSRに関する取り組みが社会に評価されていないと思われる
5. CSRに取り組む際の明確な基準、方針がない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**Q30.** 近年、社会的責任投資（SRI）に対する注目が高まっています。貴社はどのように対応されていますか。

あてはまるものをお選びください。（「O」はひとつだけ）

1. SRIの内容をよく知らない
2. SRIについて知っているが、経営上はあまり重視していない
3. SRIファンドの動向等を意識し、企業価値向上に活かしている

● ● ●以上で終了です。ご協力ありがとうございました。● ● ●

ご回答いただいた方に、調査結果概要（全ての調査項目ごとの全体集計結果）をお送りいたします。

ご希望の方は、別紙「送付先記入用紙」にご記入の上調査票と合わせてご返送ください。

内閣府委託調査

新たな成長に向けた日本型市場システム・企業ガバナンスの  
在り方に関する調査研究 報告書

---

平成 20 年 3 月

株式会社 日経リサーチ

〒101-0048

東京都千代田区神田司町 2-2-7 パークサイド 1 ビル

TEL 03-5296-5111

---